

# 伸びるタイムシェア

## 雇用創出と税収増にも貢献

ハワイで成長を続けているタイムシェア産業が、6月30日締めめの2014年度に、総額4580万ドルの税収を州と市郡にもたらしたほか、雇用創出にも貢献したことが、8日に発表された業界報告で明らかになった。報告によると、2014年度は、タイムシェアの占有率の全州平均が前年の77.5%より12ポイント伸びて88.9%に上昇、業界内の雇用者数も1445人の増加を示している。

報告を作成したホスピタリティ・アドバイザーズの社長／最高経営責任者、ジョセフ・トリー氏は、ハワイ州内でのタイムシェア市場が非常に健全であり、今後も成長を続けるもようだと語った。

トリー氏は、タイムシェア産業の業績が安定していることに加え、在庫数の増加も、雇用者数の伸びに寄与したと説明している。

2014年度のタイムシェア業界雇用者数は、前年度比44%増の4690人に達した。

全米リゾート開発協会(ARDA)の会長で、タイムシェア業界を代表するヘンリー・ペレズ氏は、在庫数が高まるにつれ、雇用者数も増えるという指摘。特に過去数年は、在庫数が大幅に増加していると述べた。

州内ではこの数年間、ホテルからタイムシェアへの部分的あるいは全面的な転換や、新しいタイムシェア・リゾートの建設などが盛んに進められており、それが在庫数の伸びに貢献している。トリー氏は、消費者による需要が1990年代

ムシェア市場に加わる計算になる。

ペレズ氏は、現在の状況は2005〜2008年の期間に似ているとの見方を示した。

### 3島で開発進行

ヒルトン・ワールドワイドのタイムシェア部門であるヒルトン・グランドバケーションズ

は8日、建設工事が進んでいるヒルトン・ハワイアンビレッジ・ワイ

キキビーチ・リゾートのユニット販売を開始したことを明らかにした。

ブラックストーンが開発を手がけているこのビルは、37階建てで418ユニットからなり、建築場所はカリ

フォルドにあるタパ・タワーの隣。

工事は2017年の

初旬に完了する予定となっており、1週間単位の価格は、1寝室スイートが2万9800ドルから、2寝室スイートは4万3600ドルからとなっている。

ヒルトン・グランドバケーションズの主席副社長(アジア/太平洋地域担当)、フライアン・クルム氏は、ハワイ州内ではタイムシェア・ユニットに向けた需要が高いが、中でもオアフ島の人が抜群だと説明した。

一方、キャププリッジ・パシフィック有責任会社は10月、マウイ島キヘイの、元アストン・マウイ・ルウがあつた敷地に、総工費3億ドルでタイムシェアを開発する計画を明らかにしている。

東京に本社を構える、キャッププリッジ・グループの子会社であるキャッププリッジは、ヒルトン・グランドバケーションズとの提携で、28エーカーの敷地にタイムシェア・リゾートを再開発する意向。

このタイムシェア開発は、ヒルトン・グランドバケーションズにとつ

て、マウイ島で初めてのプロジェクトとなる。キャッププリッジによると、工事は2015年末に始まり、2017年に完成する見通し。

ホスピタリティ・アドバイザーズのトリー社長は、先払いでハワイに滞在できることや、転売が容易であることなどが、タイムシェアの人気の秘訣だと指摘。そのため、地元住民がユニットを購入するケースも多いとしている。

2000年から2014年までにホテル客室数が約8000室減少した原因の一部として、ホテルをタイムシェアに転換する件数の増加があげられているが、トリー氏によると、タイムシェアの在庫数が上昇したことで、観光業界のバランスが維持されているという。

トリー氏は一例として、2001年9月11日

に起こった中核同時テロのあと、ホテル客室の稼働率が32%に急落した際、先払い方式のタイムシェアが73%を維持したことをあげた。

タイムシェア業界は急激に成長しているものの、2014年度にハワイの旅行者用宿泊施設で占めた比率は、わずか10%にすぎない。

それにもかかわらず、タイムシェア・リゾートやホテルのタイムシェア・ユニット、リゾート・コンド、バケーション・ユニットなど、ホテル以外の宿初施設を利用した旅行者は全体の22.9%を占めている。

ハワイ観光公社のデータによると、今年1月から10月までにタイムシェア・ユニットに最低1泊した旅行者の数は64万11294人で、そのうち49万3202人はタイムシェアのみを利用していた。